

Architalk シリーズ 2023 年度 事業報告書

環境やテクノロジー、歴史、アート、コミュニティなど、さまざまな視点から建築・デザインが社会的に果たす役割や可能性について考える事業。当該年度は、下記のとおりアメリカ・シカゴの貧困地区の空き家再生を行いコミュニティの活性化を果たした都市デザイナーであるシアスター・ゲイツ氏を招聘し、講演会や日本の専門家との対話の場を創出した。京都および東京での講演会をより多くの方に還元するために収録した講演会動画を一般に配信予定。

シアスター・ゲイツ(アーティスト、都市計画家)

彫刻と都市計画を学んだシアスター・ゲイツ氏は、治安の悪化が著しかった故郷米国シカゴのサウスサイドを拠点に、彫刻、陶芸といったアート、建築、音楽などをフックに「ドーチェスター・プロジェクト」を展開、地域の人々が集まるコミュニティ空間を創出し、地域活性化に貢献したアーティストです。またアメリカの公民権運動のスローガンである「ブラック・イズ・ビューティフル」と日本の民藝運動の哲学とを融合させた「アフロ民藝」という言葉を生み出し、陶芸・彫刻だけではなくジャンルを横断し、ハイブリットな文化活動を実践し国際的に高く評価されています。

主催:公益財団法人 国際文化会館

助成:一般財団法人 MRA ハウス／一般社団法人住環境財団／米日財団

東京講演会

「シアスター・ゲイツ:ブラックスペースをつくる」

スピーカー:シアスター・ゲイツ(アーティスト、都市計画家)

モデレーター:片岡真実(森美術館館長、国際文化会館評議員)

会場:国際文化会館

開催日:2024年2月17日

参加者数:約60名

(Youtube 配信日:2024年3月29日。4月11日現在視聴者数717名、いいね数16名

<https://youtu.be/eEHJmK1ozA8?si=nUOEcdSX2LKhVr7I>)

ゲイツ氏に、出身地シカゴで治安悪化が著しかった地域の廃屋をアートの拠点として再生させた場づくりの実践や、人種に起因する土地売却を経験した地域の文化的価値に光をあて、ドイツ・イギリスで古い建物のリノベーションによって地域の活性化を行ったプロジェクトなどをご紹介します。社会課題解決にも繋がる、場の歴史など建物に宿るものをふまえた建築空間の創出や有効活用法について考えるきっかけをつくりました。

京都講演会

「アフロ民芸」

スピーカー: シアスター・ゲイツ(アーティスト、都市計画家)

会場: Farmoon 京都

開催日: 2024年2月14日

参加者数: 25名(主に関西在住の建築家、アーティストほか)

2024年4月末に収録した講演会の動画を Youtube にて配信予定

日本ご滞在中、ゲイツ氏は京都の茶寮や益子焼で有名な栃木の益子町も訪問し、氏と伝統文化に携わる日本専門家の方との対話の場も創出いたしました。京都でのご講演の様子動画を4月末に配信します。

ご助成金

貴財団ご助成金 700 万円の内 20 万を講演会費用として充当、残り 680 万円は 2024 年度に繰越しさせていただくことをご了承いただいております。当初招聘を予定しておりました建築家のご家族の急病により来日不可となり、年度内に 2 名の建築家の招聘が難しくなりましたため、繰越をさせていただきましたら幸いです。